岩盤ボーリング柱状図

調査名　二級河川瀬野川水系　山王北川外　砂防工事に伴う全体計画書作成業務

事業・工事名

調査目的及び調査対象　砂防　砂防

ボーリング名	No.M-2	調査位置	広島市安芸区畑賀町水谷川	北緯	34° 24' 15.9770"
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和2年10月30日～ 令和2年11月 2日	東経	132° 32' 22.6530"
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 188.26m	角度	180 上 90 下 0°	方向	北 0° 270° 90° 西 東 180° 南
総削孔長	5.00m	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦地下工機D0
					エンジン：ヤンマーディーゼルNS110　ポンプ：東邦地下工機BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名(模様)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 (cm) / RQD [%]	記事	孔内水位/測定月日
1	187.46	0.80		礫混り砂質土	暗褐							(100)	地表部では草根が混じる。中～粗粒砂が主体となる。	
2	186.26	2.00		礫混り砂	灰褐							(100)	一部葉や根が確認出来る。GL-0.8～1.0m、シルト層と互層する。φ1～2cmの礫が混じる。	
3	185.96	2.30		花崗岩	灰褐	w3	h2	D C	V Ⅲ	c	CL	27[38](100)	GL-2.7～2.9m付近、水平方向に亀裂が入る。	11/2 2.30
4	185.36	2.90		花崗岩	淡褐	w3	h3	C	Ⅱ	b	CM	39[64](100)	GL-3.5～3.8mにかけて変質脈が斜めに分布し、カリ長石も多い。柱状コア主体である。	
5	184.26	4.00		花崗岩	淡灰	w2	h1	B	Ⅱ	b	CH	69[85](100)	全体として硬質の柱状コアで、GL-4.7～4.8m間、水平方向に亀裂が入る。	
	183.26	5.00												

標準貫入試験

深度－N値図

N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
7	1.15	7 / 300		
	1.45			
50以上	2.15	50 / 40	40	
	2.19			

原位置試験　室内試験

削孔状況

削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
10/30	300	86	打込み／	0	0	0	W/0	0
	96		W/DB					
	120	66		1	90	0	W37	0
10/31	86							